

若年層は「めんどうくさい」、シニア層は「実施方法が分からない」

～スマホのセキュリティ対策を何もしていない人が答えた理由～

株式会社NTTドコモ モバイル社会研究所

目次

調査結果1 : スマートフォンのセキュリティ対策を行わない理由

調査結果2 : スマートフォンのセキュリティ対策を行わない理由と
関連が強い事項

■ 調査結果

1ー スマホのセキュリティ対策を実施しない理由

「理由なし」が半数超、「実施方法が分からない」「めんどうくさい」と続く
前レポートで、スマートフォンのセキュリティ対策について報告した中で、4人に1人が
「1つも対策をおこなっていない」と答えた。

それでは何故対策をおこなっていないか、尋ねたところ図1の通り、「特に理由はない」
が最も高く半数を超えた。次いで「実施方法が分からない」「めんどうくさい」が続いた。

「どんな脅威があるか分からない」人は、1割にも満たず、多くの人何かしらの危機
意識を持っていることが推察される。

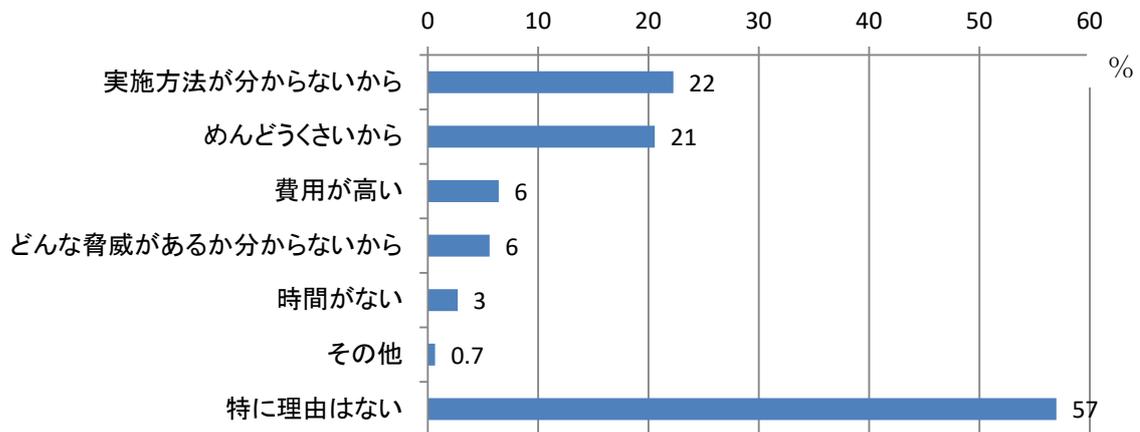


図1 スマートフォンのセキュリティ対策を実施しない理由

2ー 若年層は「めんどうくさい」、高齢層は「実施方法が分からない」

この結果を年代別にみると、若年層は「めんどうくさい」、高齢層は「実施方法が分からな
い」（特に理由はないを除く）が高い。

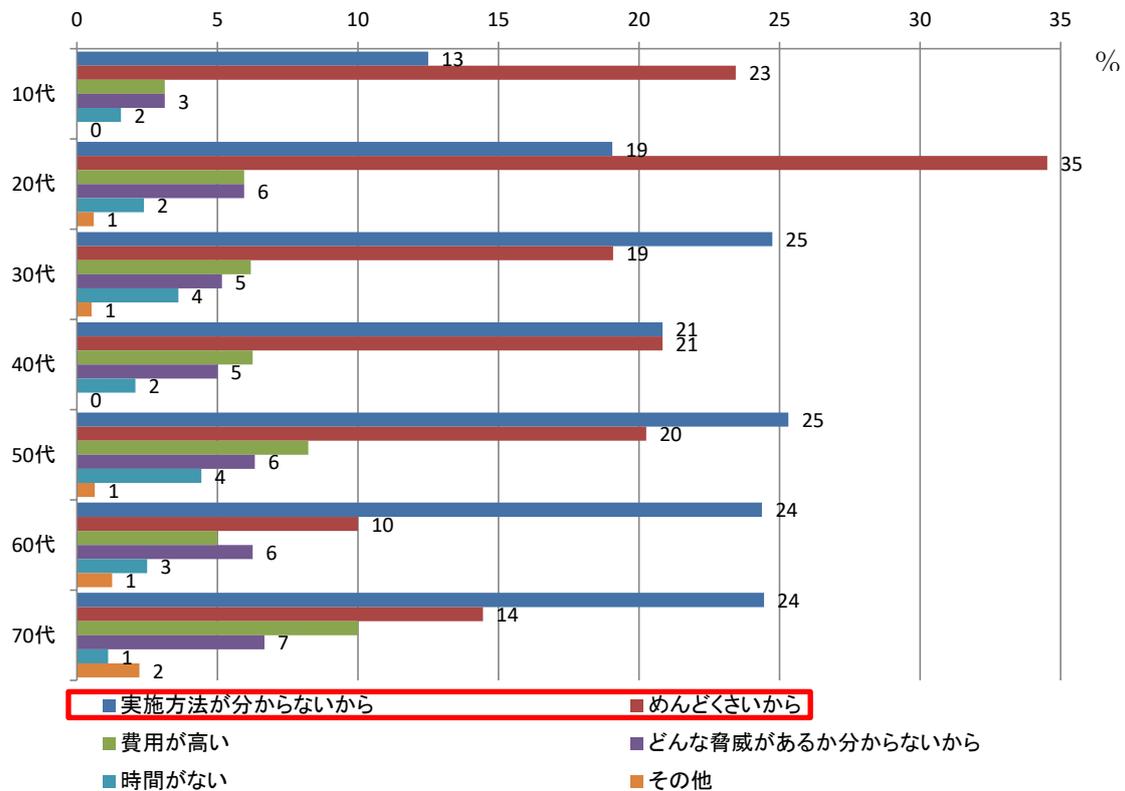


図2 スマートフォンのセキュリティ対策実施しない理由 年代別

3 — 「めんどうくさい」と答えた人は若年層でスマホ利用時間が長い

「めんどうくさい」と答えた人の特性を年代以外の項目でみると、「スマホの利用時間」と関係が強い。図3の通り、スマホの利用時間が長い人ほど、「スマホのセキュリティ対策をしない理由としてめんどうくさい」と答える傾向が見えた。利用しているICTサービスを見ると、動画・音楽、ゲームなどを多く利用している傾向が見られた。

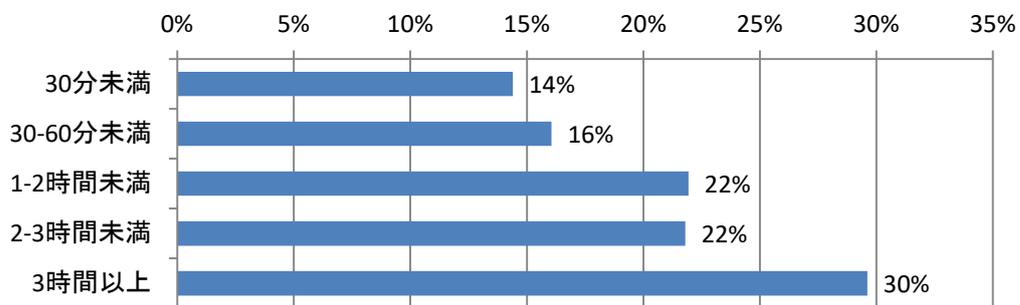


図3 スマートフォンのセキュリティ対策実施しない理由「めんどうくさい」と答えた人のスマホ利用時間

4—— 「実施方法が分からない」と答えた人は高齢女性の消極派が多い

続いて、「実施方法が分からない」と答えた人の特性を年代以外の項目で関係が強かったのは「性別」と「自己顕示性（注目の的になりたい）」であった。自己顕示性の弱い人、つまり消極的な人ほど「実施方法が分からない」と答える傾向があった。

スマホの対策を何もおこなっておらず、「実施方法が分からない」人は「高齢女性で消極的」という特徴が見られた。

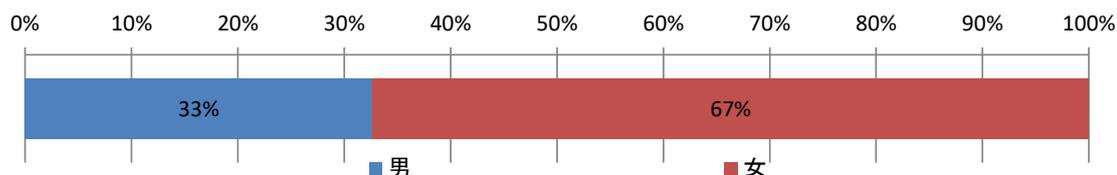


図4 スマートフォンのセキュリティ対策実施しない理由「実施方法が分からない」と答えた人の性別



図5 スマートフォンのセキュリティ対策実施しない理由「実施方法が分からない」と答えた人の自己顕示性（注目の的になりたい）

スマホに関する様々なトラブルが顕在化する中で、ウィルス対策や置き忘れた時の対策など推奨していきたいが、今回の分析の中で、対策を実施しない人の特性が見えてきた。同じ対策をしない人でも年代により、その理由が異なり、さらにスマホの利用時間や心理的特徴もことなることが示唆された。

このような特性があることを前提に、セキュリティ対策を呼びかけることが重要ではないだろうか。

■調査概要（調査名 スマホのマナー・セキュリティ調査 web 調査）

調査時期 : 2018年3月 調査対象 : 全国、15～79歳男女

標本抽出法 : QUOTA SAMPLING 性別・年齢・都道府県で割付 6,000 サンプル回収

■問い合わせ先

詳細なデータ、質問項目など、ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

株式会社NTT ドコモ モバイル社会研究所 msri-inq-ml@nttdocomo.com 03-5156-1087